

「使い捨て」カイロ



なんてもう言えない



カイロ回収プロジェクト

市川高等学校

活動動機

2020年の冬、コロナ禍で学校生活が規制される中この状況でもクラスメイトと何かできる事は、ないかと考えていた時にネットニュースで使用済みカイロから、水質を改善するキューブができる事を知りました。このキューブを作るための使用済みカイロが不足しているので寄付を募集していました。ゴミとして捨ててしまう物を集める事なら、コロナ禍でもできるのではないかと、仲間を集め先生方に相談しクラス活動としてスタートしました。



活動内容

毎年11月中旬から3月末頃まで、校内2か所に回収BOXを設置しています。

2020年度 14kg

2021年度 140kg

2022年度 166kg 集まりました。



回収したカイロは、キューブを作成している会社 Go Green Group 様へ送付しています。

校内への周知活動として回収お願いのポスター作成、文化祭や、校内研究発表会で校内の池、近くの大柏川の水を使用し、サンプルキューブを用いて滴定実験を行いその結果を発表しました。

送料をまかなう為の募金活動もしています。



今後の目標・課題

今後も継続して活動し、回収システムの簡略化をし、後継者の育成をすすめながら Go Green Group 様に寄付をしていきたいと思えます。

この活動は、本来ゴミとして捨ててしまうものを再利用するという観点からゴミの軽減にもつながり地球環境改善の一助になると考えています。

私たちのような小さなグループのみでなく、地域社会での活動になれば多くのメリットが生まれるのではないのでしょうか。

地球環境改善につながる活動になれるように、地域社会に働きかけを少しずつ行えればと思えます。

